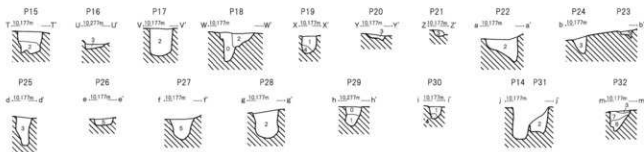
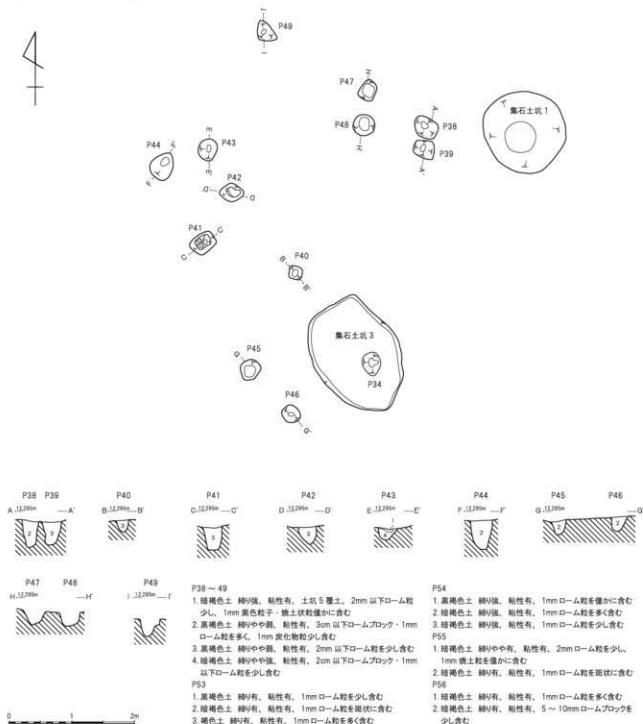


第46図 浄禅寺遺跡第40地点土坑④・ビット③ (1/60)

D 区ビット層



集石土坑 1・3・P38～P49



第 47 図 浄禅寺跡遺跡第 40 地点ビット④ (1/60)

溝1

溝1

1. 黒褐色土 練り強、粘性有、1cm以下ローム粒多量に含む

溝4・5

1. 表土・耕作土

2. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、3mm以下ローム粒多量含む、全体に顆粒状を呈する

3. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、2mm以下粒状・シミ状のローム少し含む

4. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、全体にローム主体で、シミ状に黒褐色土を極少し含む

5. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、3層より明るく、2mm以下シミ状ローム極少し含む、下層程ローム

質になる

6. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、5層よりローム主体で、黒褐色土とロームを同程度含む

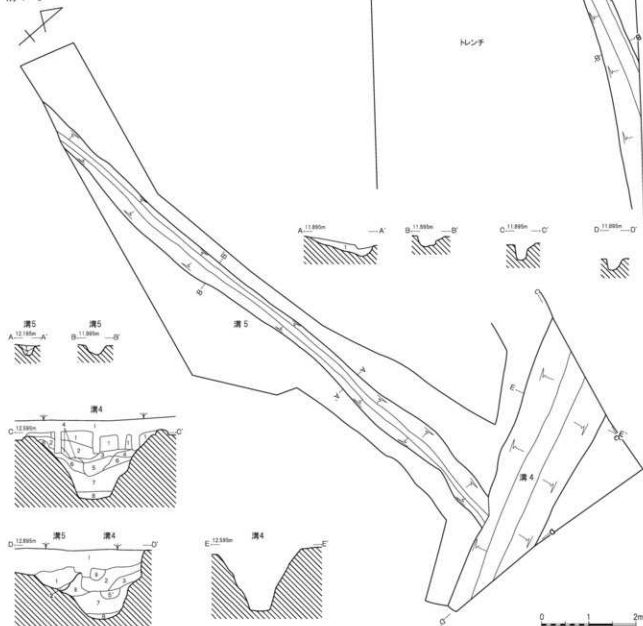
7. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、4層に類似、さらにローム質で、黒褐色土少なくなる

8. 褐色土 練りやや弱、粘性有、ローム主体土で1cm以下ロームブロック多量含む、全体に顆粒状を呈す

9. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、黒褐色土主体に2cm以下ロームブロックやや多量含む

10. 黒褐色土 練りやや弱、粘性有、黒褐色土と3cm以下ロームブロックを同程度含む、塊石(ゴボウ)の可能性も有り

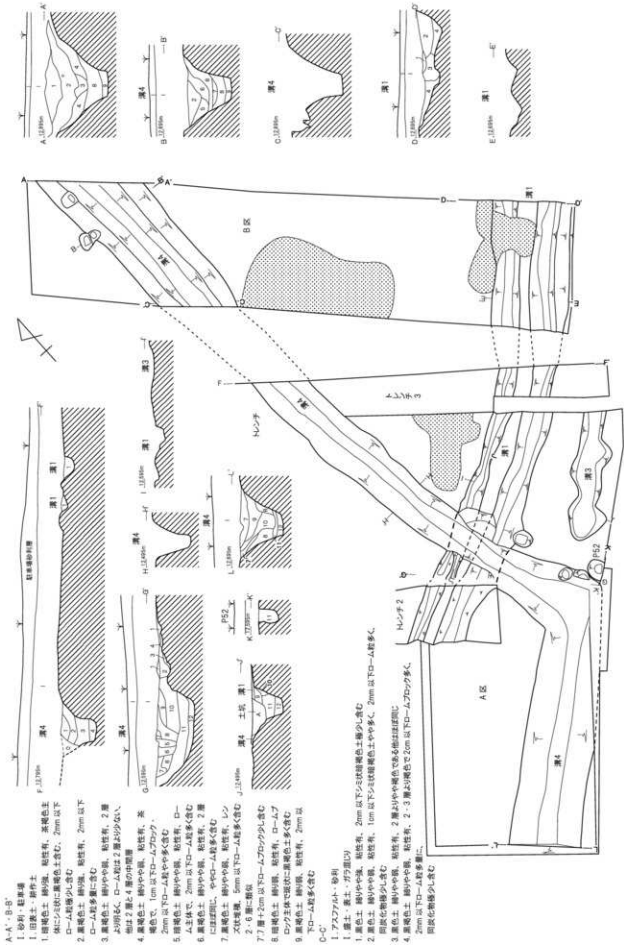
溝4・5



第48図 浄禅寺跡遺跡第40地点溝① (1/80)



第49図 海禅寺跡遺跡第40地点溝②・ピット⑤ (1/80)

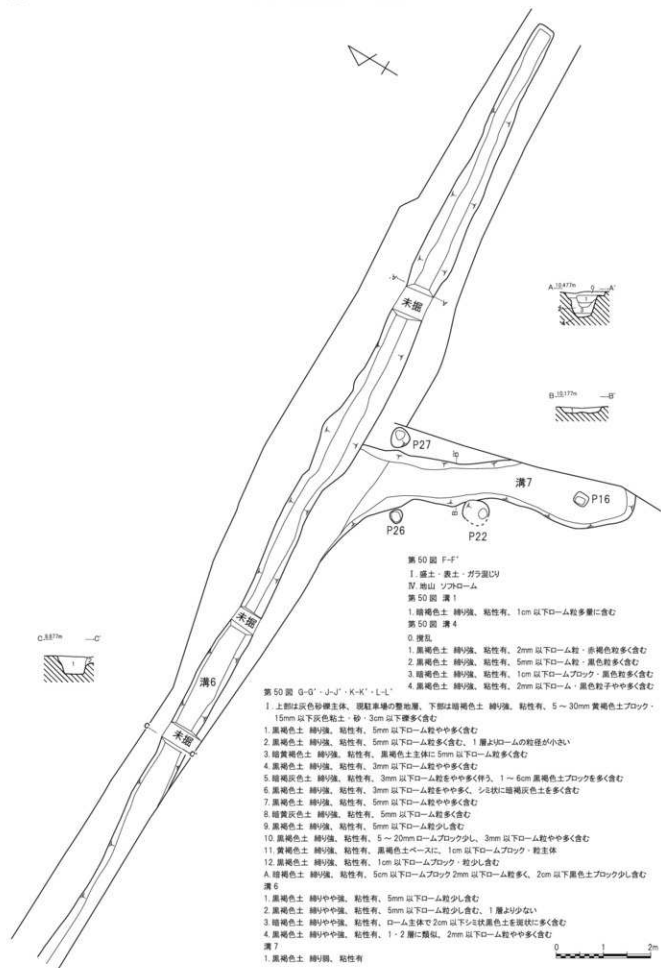


A-A'・B-B'

1. 砂利・粘平土
1. 田原土・粘平土
1. 黒褐色土 粘平土、粘性有、黒褐色土
1. 黒褐色土 粘平土、粘性有、黒褐色土、2mm 以下細粒に黒褐色土を含む、2mm 以下ローム状物少し含む
2. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2mm 以下ローム状物少し含む
2. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2mm 以下ローム状物少し含む
3. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2層あり、2層は2層より厚い
4. 黒褐色土 粘平土、粘性有、茶褐色で、1cm 以下ローム状物少し含む
5. 黒褐色土 粘平土、粘性有、ローム状物少し含む
6. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2層あり、2層は2層より厚い
7. 黒褐色土 粘平土、粘性有、レンズ状物混、5mm 以下ローム状物含む
- 2・6 層に類似
7. 7層は2cm 以下ローム状物少し含む
8. 黒褐色土 粘平土、粘性有、ローム状物少し含む
9. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2mm 以下ローム状物多量に含む
9. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2mm 以下ローム状物多量に含む

C-C'

1. アスファルト・砂利
1. 黄土・黄土・ガク土
1. 黒色土 粘平土、粘性有、2mm 以下少くは粘褐色土少し含む
2. 黒色土 粘平土、粘性有、1cm 以下少くは粘褐色土やや多く、2mm 以下ローム状物多量に含む
3. 黒色土 粘平土、粘性有、2層あり粘褐色土は2層に厚い
4. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2・3層あり褐色土2cm 以下ローム状物多量に含む
4. 黒褐色土 粘平土、粘性有、2層あり粘褐色土は2層に厚い



第50図 浄禅寺遺跡第40地点溝③ (1/80)

外遺物集中とした。

遺物集中1はビット53とビット54の南西約1.5～1.8mに位置する。約28点が出土する。遺物集中2は土坑8の北東に隣接し、約8点が出土する。

⑨縄文時代住居跡以外の出土遺物（第51～53図1～80）

【集石土坑出土遺物】1は集石土坑1出土で、胎土に繊維を含み条痕文施文。2は集石土坑2出土で口縁部近くに楕円形の穿孔がある。地文は燃糸文か沈線とみられるが、摩滅のため不明である。3～7は集石土坑3出土である。3は胎土に繊維を含む。4は縄文を縦位に、5は口唇部直下に押し文を施す。6は口唇部直下に沈線文と円形の刺突列を施す。7は沈線文と磨消しを行う。1～4は早期、5～7は中期。

【地下式坑、井戸出土遺物】地下式坑と井戸の覆土層出土遺物のうち、縄文時代の遺物については遺構外出土に掲載し、中近世期の遺物について記述する。9～13は常滑産陶器の大甕で、肩部から胴部にかけての同一個体とみられる。胎土に砂粒を含み輪積成形で外面に自然軸が掛かる。9、10は胴部内面中央部に指頭圧痕状の成形痕がみられる。11は割れ口に擦痕がみられ、転用砥石か。14、15は地下式坑と井戸覆土層から出土した瓦質風炉で、同一個体とみられる。隆帯間に文殊状の突起と沈線の唐草文を施す。15には上部に円孔がある。8～15は14～15世紀。

【土坑出土遺物】16は土坑6出土の常滑産甕の破片。内面に指頭圧痕状の成形痕有。14～15世紀。17～21は土坑9出土土器。17は胎土に繊維を含み、条痕文を施す縄文時代早期。18は口唇部に微隆帯の区画文でRL縄文を施す。19は沈線文、20は地文縄文に沈線の逆「J」字文を施す。21は底部で無文。22は土坑8出土で縄文に沈線文を施す。23は土坑10出土で沈線文を施す。24・25は土坑11出土で、24は口唇部に横位沈線を巡らせ、LR縄文に沈線の「∩」字文で中を磨消す。25も24に似るが同一個体ではない。26・27は土坑13出土でLR縄文に沈線間を磨消す、同一個体である。18～27は加曾利EⅢ～Ⅳ式。

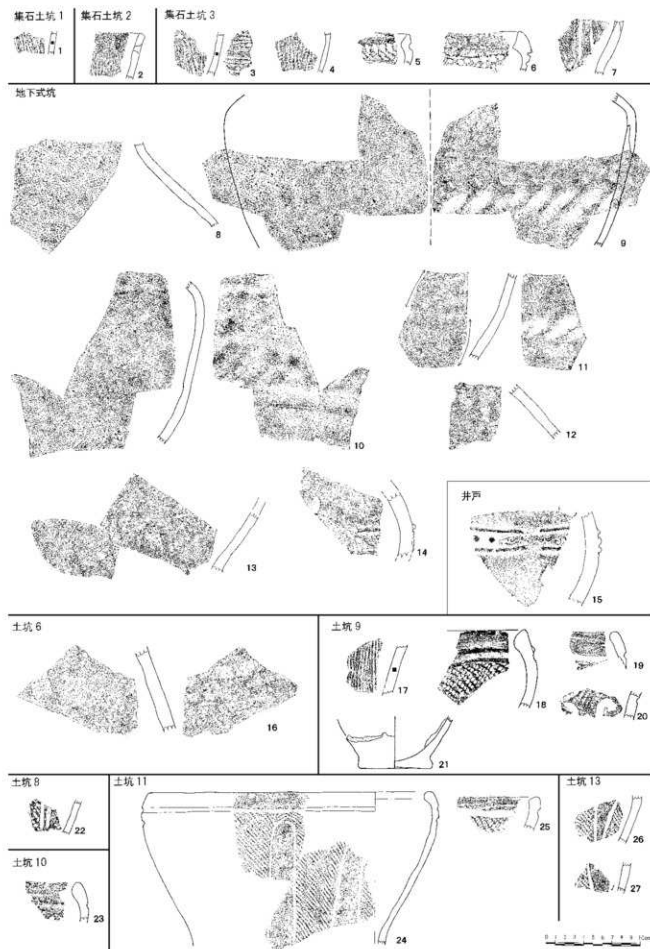
【ビット出土遺物】28・29は近世の遺物でビット1出土。28は陶器の天目茶碗で内外面に鉄軸を掛け、銅下部から底部は無軸。29は瓦質土器の焙烙。30～33はビット15～40出土。30はLR縄文、31は微隆帯に縄文を施す。32は微隆帯に「U」字状文で中を磨消す。33はLR縄文に沈線で中を磨消す。34～

38はビット54出土。35～37はLR縄文に沈線文と磨消しで、特に36は広く磨消す。38は磨消しで無文。30～38は加曾利EⅢ～称名寺式である。

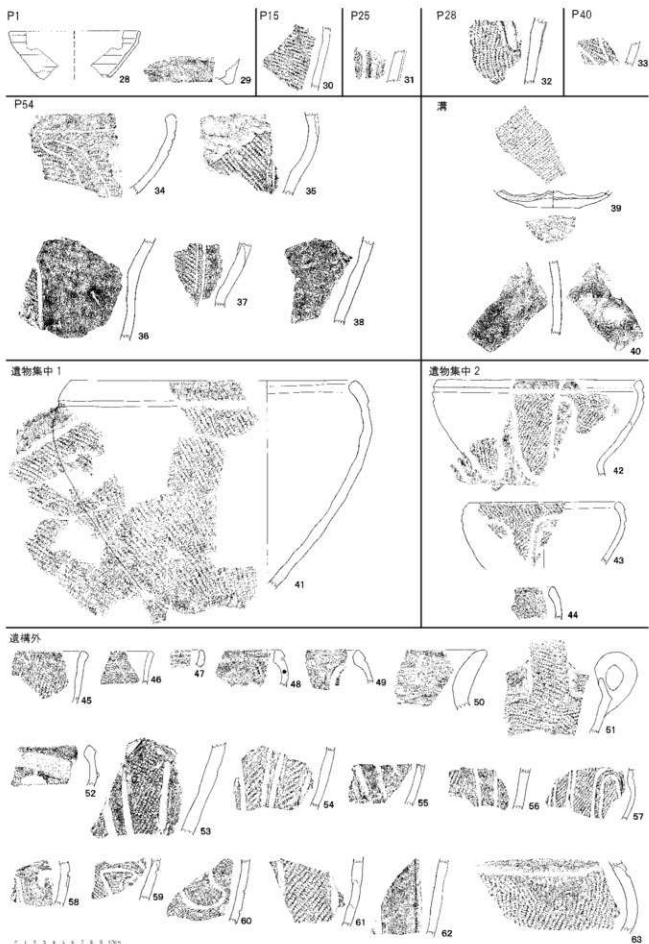
【溝出土遺物】39は瀬戸美濃産陶器の卸皿で外面下部から底部にかけて無軸。底部は糸切痕未調整で、胎土は灰色である。内面は格子目状の卸目に灰軸を掛ける。40は常滑産甕の胴部で外面は茶褐色、胎土は灰色で内面に指頭状圧痕がみられる。39・40は14～15世紀。

【遺構外遺物集中1・2出土遺物】41は遺物集中1出土。41は浅鉢形土器で口縁部は無文で横位に1本の沈線を巡らす。42～44は遺物集中2出土。42はRL複節斜縄文で口縁部は横方向、口縁部以下は縦方向に施文する。上半は沈線文を「∩」字状、下半は「U」字状に配し中を磨消す。43もRL縄文を羽状に施文し2本組沈線文を「∩」字状に配し中を磨消す。44は無文。41は加曾利EⅣ式。42～44は加曾利EⅢ式。

【遺構外遺物出土遺物】47・50は地下式坑覆土層、62・62～65は井戸1覆土層出土で、それ以外は遺構外出土である。45は縦位の浅い縄文を施す早期燃糸文系土器。46は極細い竹管状工具の内側で沈線と爪形文を施すが胎土に繊維は含まない、早期から前期か。47は半軟竹管状工具で幅狭な押し文を2列施す。48は胎土に金雲母を含み、半軟竹管状工具で幅狭な押し文で区画文を配する。49は縄文に磨消し、50は無文口縁部で撫でを施す。51は口縁部の環状（橋状）把手でRL縄文を施す。52は波状口縁で地文縄文に沈線文を施す。53はRL縄文に沈線間を磨消す。54はRL多条縄文に2本組沈線を施す。55は地文縄文、56は複節縄文で共に沈線間を磨消す。57はLR縄文に2本組沈線間を磨消す。58は沈線文に磨消しを施す。59・60は地文縄文に沈線文の中を磨消す。61はLR縄文に沈線、62は沈線間を幅広く磨消す。63はLR縄文に横位沈線を巡らす。64はRL縄文、65は無節縄文、66は沈線文を施す。67は無文の底部。68は肥前系磁器の皿で染付唐草文。高台内施軸、畳付け無軸。17～18世紀。69は焼締め陶器片で外面に叩き目痕があり側面に擦痕がみられる転用砥石で常滑産か渥美産。70は土製の碁石で重さ1.69g。71は真鍮銭貨の寛永通寶で文政～安政期の「赤銭」（1821～1859年）で重さ2.32g。72～80の石器については、第27表参照。



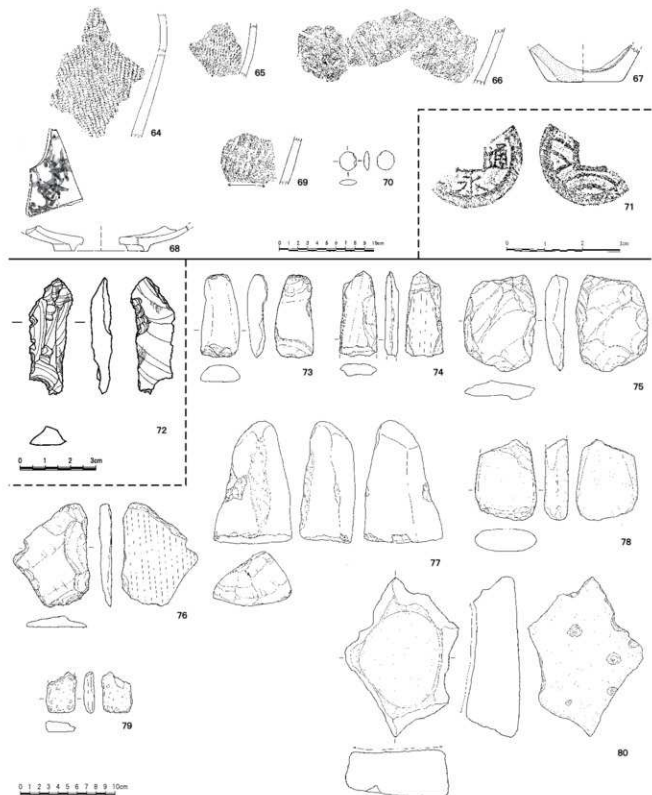
第51図 浄禪寺遺跡第40地点出土遺物① (1/4)



第 52 図 浄禅寺跡遺跡第 40 地点出土遺物② (1/4)

第27表 浄禅寺跡第40地点遺跡出土土器観察表(単位:cm)

図版番号・No.	遺構名・注記No.	種別・器形	長さ	幅	厚さ	重量	石材/推定生産地	推定年代	残存/備考
第53図72	遺構外・H1	二次加工銅片	3.45	1.3	0.6	1.98	黒曜石	縄文時代	完形
第53図73	遺構外・H2	打製石斧	8.8	4.2	2.1	98.16	頁岩	縄文時代	完形
第53図74	井戸1・No.5	打製石斧 (9.0)	(9.0)	(4.0)	1.3	(68.08)	緑泥閃岩	縄文時代	下部欠損
第53図75	遺構外・北上一層	打製石斧	10.2	7.65	2.3	188.57	ホーンフェルス	縄文時代	完形
第53図76	遺構外・Bトレ1	打製石斧	10.45	8.1	1.3	125.89	緑泥閃岩	縄文時代	完形
第53図77	遺4	スタンプ形石鏝	12.95	8.3	5.7	689.42	中粒砂岩	縄文時代	完形
第53図78	土坑9・No.34	磨き石	(8.6)	6.5	2.3	(203.99)	安山岩	縄文時代	一部欠損
第53図79	J4号住居跡・No.26	斬石製品	(4.35)	(3.3)	(1.15)	(1.70)	輝石	縄文時代	一部欠損
第53図80	J4号住居跡・No.9	石皿・門石	(16.8)	(12.0)	(5.3)	(1096.74)	安山岩	縄文時代	埋没部欠損



第53図 浄禅寺跡遺跡第40地点出土遺物③(1/4・1/1)

第8章 まとめ

2015（平成27）年度の市内埋蔵文化財発掘調査は、47件の試掘調査と個人住宅建設に伴う本調査1件、民間開発に伴う本調査7件を行った。その他に52件の工事立会を行った。開発の内訳は宅地造成や共同住宅、分譲住宅などの開発が増える一方、各種介護施設や高齢者福祉施設等が増えている。また、再開発では個人住宅の建替などが増えている。

2015（平成27）年度の本調査は、本書に掲載した以外にハケ遺跡第19・20地点（宅地造成・分譲住宅）の本調査と滝遺跡第26地点（個人住宅）の本調査を実施した。ハケ遺跡の調査は大規模なものであり、整理作業に時間を要するため今回は不掲載とした。滝遺跡については試掘調査の報告と併せて来年度以降に報告を行う。

以下、本年度に行った調査のうち、遺跡別に主な遺構と遺物について総括する。

【鶴ヶ岡遺跡第6地点】 鶴ヶ岡遺跡第6地点の本調査で、立川ローム層のIV層～VI・VII層より剥片等が出土した。川越江川流域で南西に隣接する鶴ヶ岡外遺跡では、同時期の遺構と遺物が調査されているが本遺跡では初めて確認された。今回の調査では石器の製品は出土していないが、6点の剥片のうち2点の接合資料が出土した。

出土層位はIV層～VI・VII層上面にかけてやや分布幅がみられるが、石質や剥片の特徴で層位による違いはみられず、文化層による違いは考えられない。

縄文時代の竇穴群も確認したが、開発による影響が及ばないため、試掘調査のみで本調査は実施していない。遺構の深さ等の確認で一部を検出し、縄文時代早期条痕文系の土器片が出土している。

川越江川流域の鶴ヶ岡遺跡、鶴ヶ岡外遺跡で旧石器時代から縄文時代早期の遺構と遺物が確認されている。市内には川越江川、福岡江川、富士見さかい川、砂川堀、その他にも浄禅寺川や東久保地区の埋没河川沿いに旧石器時代の遺跡が存在する。これらの遺跡では縄文時代早期の竇穴群も多数検出される。西ノ原遺跡や東久保地区の遺跡では、等高線沿いの一定間隔に竇穴群が存在する傾向がみられる。また川越江川流域では、旧石器時代と縄文時代早期の遺跡立地が重なる傾向がみられる。他遺跡でもこうした関連性が確認されれば、人々の行動や活動域が似たような状況であった可能性

が出てくる。前述した他の河川沿いの遺跡について、今後にも注意してみていく必要があろう。

【北野遺跡第33地点】 北野遺跡第33地点では集石土坑5基がまとまって検出された。集石土坑2から出土した土器片をみると、縄文時代早期から中期の時期と考えられる。

市内では中期の大規模環状集落である東台遺跡、西ノ原遺跡で廃棄された住居跡の窪地を利用して、集石土坑が集中する傾向がある。さらに西遺跡、ハケ遺跡、亀居遺跡、神明後遺跡といった中小規模の遺跡でも、集落の特定の区域に集石土坑が集中する傾向がみられる。また集落としては小規模か住居跡が確認されない東久保地区内の遺跡（江川南・東久保・東中学校西）、本村遺跡、浄禅寺跡遺跡等に加え、近年では北野遺跡、滝遺跡、松山遺跡、駒林遺跡で集石土坑の検出が増えている。

北野遺跡ではこれまでに縄文時代中期の住居跡1軒と勝坂期の深鉢土器の顔面把手が採取されており集石土坑も中期に近い時期と考えられる。

これまでに市内の集石土坑から出土した炭化物の自然科学分析の結果をみると、集石土坑の時期は概ね縄文時代中期に属する事がわかる。2008（平成20）年に行った駒林遺跡第5地点の本調査で、3基の集石土坑を検出した。そのうち集石土坑1と集石土坑2から出土した、炭化物の年代測定（ $\delta^{13}\text{C}$ 補正有）で4470±40yrBP、4500±40yrBP、4530±40yrBPの数値が示され、縄文時代中期前葉に相当する。（2011.3 ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第6集『市内遺跡群5』附編自然科学分析）。2005（平成17）年に行った江川南遺跡第20地点の本調査では集石土坑5基を検出した。そのうち集石土坑1から出土した炭化物の年代測定（暦年校正年代）で3950±80BPの数値が示され縄文時代中期後半に相当する。（2007.3 ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第2集『市内遺跡群2』附編自然科学分析）。

【川崎遺跡第44地点】 川崎遺跡第44地点では縄文時代前期黒浜期の住居跡2軒、9世紀代の住居跡1軒、中近世の地下式坑1基と貝塚1基が確認された。

縄文時代と9世紀の住居跡は各時代の集落範囲を知る上で貴重である。縄文時代前期の住居跡は前期花積下層期、関山期、黒浜期まで22軒が確認されているが

時期不明なものも含まれている。その他に中期の加曾利期や称名寺期の住居跡も数件確認されている。縄文時代では貝塚も確認されているが、詳細な報告は行われていない。

今回の調査で特に注目されるのは、中近世期の地下式坑の覆土層で確認された貝塚である。イシガイを中心にオオタニシ、カワノナを主体とするものである。

出土状況から地下式坑が使用されなくなった後に、貝類の廃棄が行われたものと考えられる。同様の貝塚は滝道跡第25地点の井戸3にみられる。滝道跡ではマツカサガイを主体にチリメンカワノナとタニシが出土している。(2016.3 ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第17集『市内遺跡群16』第4章 滝道跡第25地点の本調査)。両遺跡は武蔵野台地北東端のやや低い段丘面上にあり、荒川低地を望む。距離的には1～1.5kmの距離であるが、遺跡の立地は類似している。縄文時代から近世まで連続と集落が営まれていた点でも類似する。両遺跡の間には、縄文時代前期岡山期から黒浜期の集落で有名な上福岡貝塚が位置し、貝塚が存在する環境は古くからみられる。来年度以降に出土した貝類の年代測定を実施し併せて貝塚の属性について報告を行う予定である。

【松山遺跡第85地点】松山遺跡第85地点では9世紀後半の住居跡2軒と中近世期以降の溝が新たに確認された。調査区は福岡江川に近い位置にあり包含層、地山ローム層の観察からも江川の氾濫域に近い所で、当時の集落がそこまで広がっていた事がわかる。2013(平成25)年には、江川を挟んだ福岡新田遺跡第4地点で8世紀後半の住居跡が初めて確認され、古代の集落が江川を挟んで広がっていた事が判明している。今回の住居跡の発見も集落の広がりを裏付けるものである。

今回新たに検出した溝も出土遺物から中世期まで遡ることが判明しており、松山遺跡の古代と中世期の集落構造を比較研究する上でも貴重である。

【苗間東久保遺跡第33地点】苗間東久保遺跡第33地点の調査で、縄文時代の落とし穴とピット数基を検出、縄文土器片や石器が出土した。落とし穴は隣接する第13・18・19地点でも検出している。第18地点では富士見かい川に向かって3基の落とし穴が並ぶ。川に近づく動物を捕獲するための配置であり、今回の落とし穴も第13・19地点と合わせて考えると、動物の通り道(獣道)とも考えられる。今回の調査は広範囲で行う事が出来たが、第28・30・31地点ではトレンチ調

査であったため、落とし穴等の小規模の遺構は確認出来なかった可能性が高く、今後の課題と言えよう。

【浄禅寺跡遺跡第40地点】浄禅寺跡遺跡第40地点の調査では縄文時代の住居跡や集石土坑、土坑等の他に中近世期以降の地下式坑、井戸、溝等が確認された。縄文時代の遺構と遺物は、浄禅寺川と砂川の間が南北に馬の背状に伸びる部分に位置するのが確認された。前期黒浜式期の住居跡1軒を除き、縄文時代中期後半(加曾利EⅡ～Ⅲ)に限られる集落として、隣接する神明後遺跡や苗間東久保遺跡と比べ、非常に限られた時間と空間に営まれた集落と言える。

中近世期以降の時期では、浄禅寺に関係する遺構と遺物が新たに確認されるのか注目された。特に隣接する第10地点には、浄禅寺の墓域が位置する。その続きは本調査区では確認されなかった。しかし墓域を囲むように築崩状の溝が本地点に伸び、北側に曲がるのが確認され、改めて墓域を区画する溝として考えてよいであろう。また、地下式坑と井戸が検出され、底部に近い覆土層より14～15世紀の常滑産甍と瓦質土器の風が出土した。これまでも浄禅寺境内と推定される範囲内から中世期の茶毘跡や木炭窯等の遺構が検出されている。また周辺部からは板碑等も多数出土しており、今回の遺構と遺物も浄禅寺の起源が中世にまで遡る資料と言える。浄禅寺の建物等については今回も確認されなかった。盛土保存の対象区域もあり、今後の調査に期待したい。

2015(平成27)年度は、前述したような目覚ましい発掘調査の成果に加え、ふじみ野市の文化財保護行政、特に埋蔵文化財調査体制において二期となる年であった。これまで調査体制の整備と充実等が課題であったが、発掘調査担当職員が新規に採用され、発掘調査員補助職員交代などもあり、調査体制に大きな変化があった。こうした中、市内の試掘調査、本調査件数は横ばい状態にあるが、阪神淡路大震災、東日本大震災以降、地震による建造物の耐震性に伴う建築基準がより厳しくなった。こうした耐震性の問題は地盤改良等の施工方法がより厳しく求められるようになり、埋蔵文化財に及ぼす影響も増えつつある状況で、今後も調査体制の一層の整備・強化が必要である。さらに文化財を取り巻く環境として、文化財の公開・活用が強く求められている。



鶴ヶ岡遺跡第6地点試掘調査風景



鶴ヶ岡遺跡第6地点トレンチ1



鶴ヶ岡遺跡第6地点トレンチ2



鶴ヶ岡遺跡第6地点トレンチ3



鶴ヶ岡遺跡第6地点試掘調査風景



鶴ヶ岡遺跡第6地点炉穴群



鶴ヶ岡遺跡第6地点炉穴群



鶴ヶ岡遺跡第6地点試掘調査旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点本調査風景



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



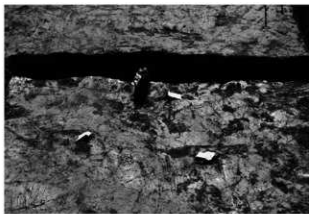
鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点旧石器出土状況



鶴ヶ岡遺跡第6地点本調査風景



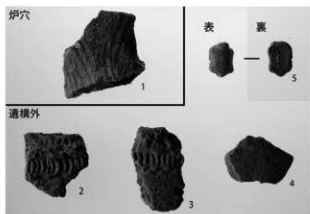
鶴ヶ岡遺跡第6地点本調査風景



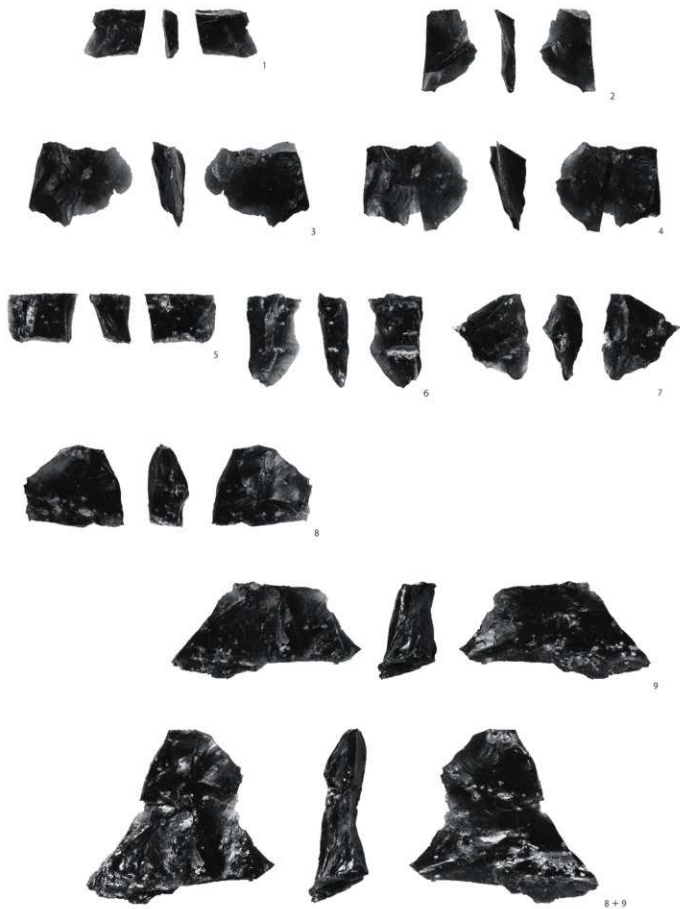
鶴ヶ岡遺跡第6地点本調査風景



鶴ヶ岡遺跡第6地点調査区近景



鶴ヶ岡遺跡第6地点出土遺物



鶴ヶ岡遺跡第6地点出土石器



北野遺跡第 33 地点試掘調査風景



北野遺跡第 33 地点試掘調査風景



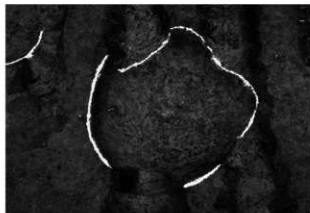
北野遺跡第 33 地点試掘調査集石土坑 1



北野遺跡第 33 地点試掘調査集石土坑 2



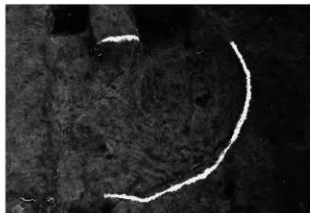
北野遺跡第 33 地点集石土坑 1 曝出土状況



北野遺跡第 33 地点集石土坑 1 完掘



北野遺跡第 33 地点集石土坑 2 曝出土状況



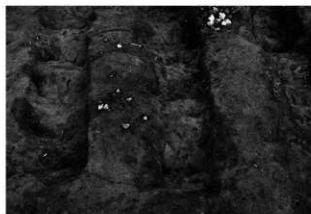
北野遺跡第 33 地点集石土坑 2 完掘



北野遺跡第 33 地点集石土坑 3 磔出土状況



北野遺跡第 33 地点集石土坑完掘



北野遺跡第 33 地点集石土坑 4・5 磔出土状況



北野遺跡第 33 地点集石土坑 4・5 完掘



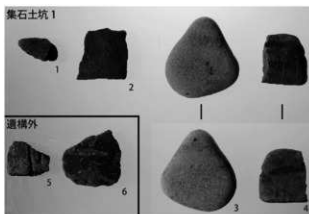
北野遺跡第 33 地点集石土坑全景



北野遺跡第 33 地点集石土坑全景



北野遺跡第 33 地点本調査風景



北野遺跡第 33 地点出土遺物



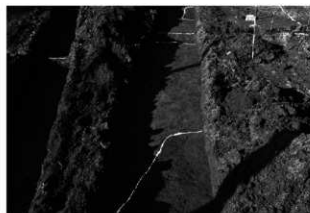
川崎遺跡第44地点試掘調査風景



川崎遺跡第44地点トレンチ1



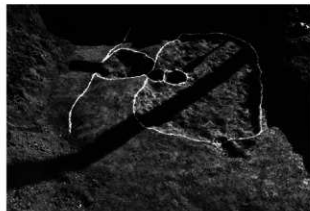
川崎遺跡第44地点トレンチ2



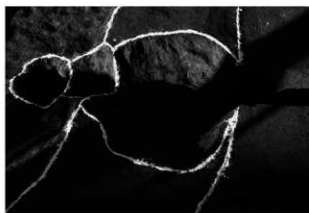
川崎遺跡第44地点トレンチ3・4



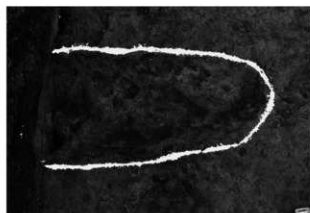
川崎遺跡第44地点トレンチ4



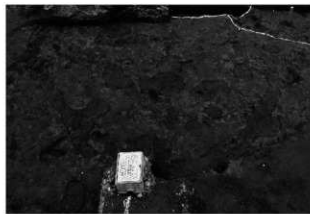
川崎遺跡第44地点土坑1・2、ビット1・2、溝



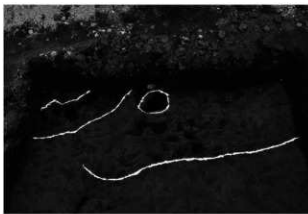
川崎遺跡第44地点土坑2、ビット1・2



川崎遺跡第44地点土坑3



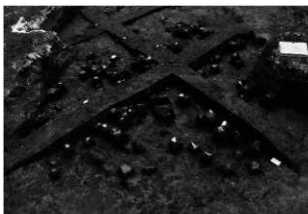
川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡床面検出状況



川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡西側部分 (ピット 1)



川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡遺物出土状況



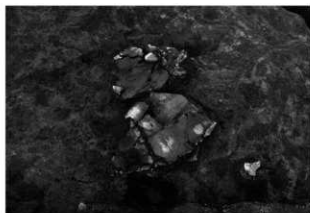
川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 44 地点試掘調査風景



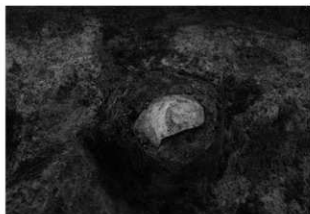
川崎遺跡第 44 地点 J25 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 44 地点 J25 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 44 地点 H80 号住居跡全景



川崎遺跡第 44 地点 H80 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 44 地点地下式坑具層出土状況



川崎遺跡第 44 地点地下式坑



川崎遺跡第 44 地点地下式坑



川崎遺跡第 44 地点地下式坑



川崎遺跡第 44 地点地下式坑土層



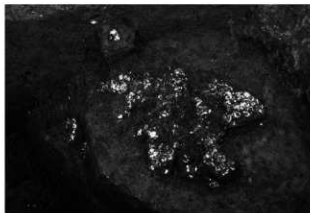
川崎遺跡第 44 地点地下式坑土層



川崎遺跡第 44 地点地下式坑土層



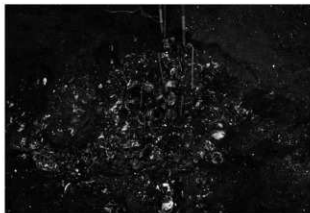
川崎遺跡第 44 地点貝層の土層



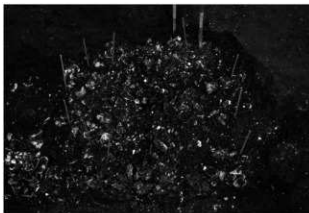
貝層イシガイ①出土状況



貝層イシガイ②出土状況



貝層オオタニシ③出土状況



貝層オオタニシ⑤、カワニナ⑥出土状況



貝層オオタニ⑦、カワナ⑧出土状況



貝層イシガイ⑩最終面出土状況



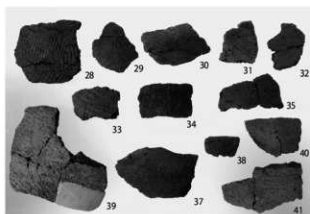
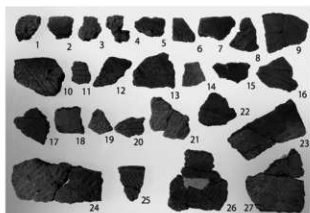
川崎遺跡第 44 地点貝層完掘



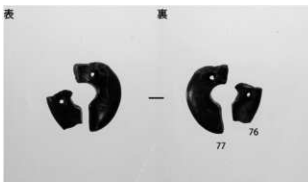
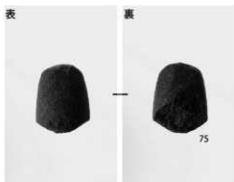
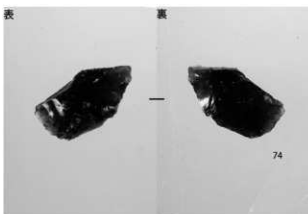
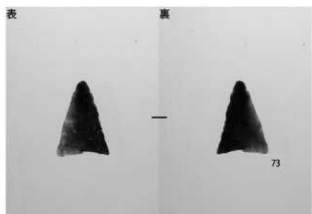
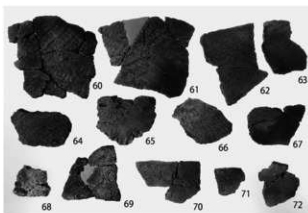
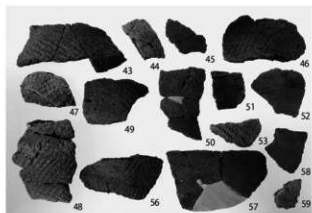
川崎遺跡第 44 地点貝層完掘



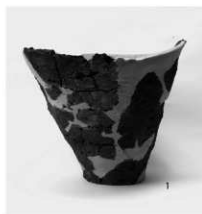
川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡調査風景



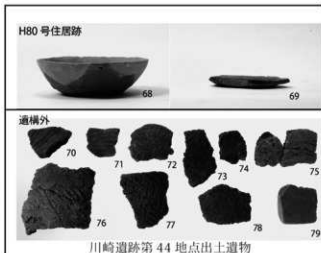
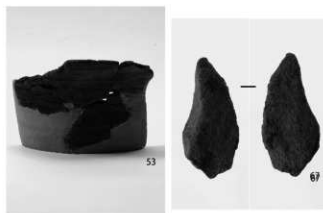
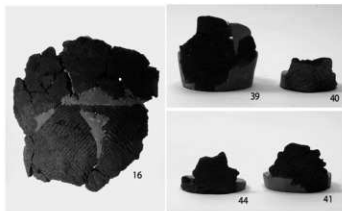
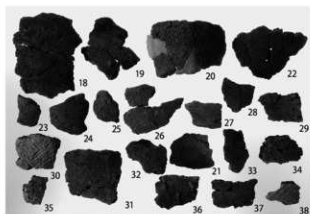
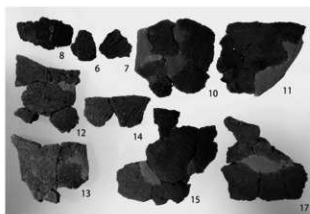
川崎遺跡第 44 地点出土遺物 J24 号住居跡出土遺物①



川崎遺跡第 44 地点 J24 号住居跡出土遺物②



川崎遺跡第 44 地点 J25 号住居跡出土遺物①



川崎遺跡第 44 地点 J25 号住居跡出土遺物②

川崎遺跡第 44 地点出土遺物



松山遺跡第 85 地点試掘調査風景



松山遺跡第 85 地点トレンチ 4 溝 1



松山遺跡第 85 地点トレンチ 4 溝 1



松山遺跡第 85 地点トレンチ 5 溝 1・2



松山遺跡第 85 地点トレンチ 5 溝 1・2



松山遺跡第 85 地点トレンチ 6 溝 2



松山遺跡第 85 地点トレンチ 7 溝 2



松山遺跡第 85 地点トレンチ 8 溝 2・3